

ラリアートジャーナル

2008 AUTUMN vol.123

ラリー北海道2008レポート

2009年ダカールラリー制覇を狙う  
『レーシングランサー』実走テスト開始

www.ralliart.com

MITSUBISHI MOTORS dealer team for RALLY JAPAN 2008

三菱自動車ディーラーチーム

# ラリージャパン へ挑戦。

田口勝彦、  
母国WRCグループN  
連覇を目指す。



RALLY JAPAN

# Rally Hokkaido

[ラリー北海道 2008]

FIAアジア・パシフィックラリー選手権 第4戦 / JAF全日本ラリー選手権 第6戦

# 乱戦、制す。

KATSU、2度目の地元APRC制覇を達成



1. ラリー前には恒例のエントリーミーティングでひと盛り上がり。三菱自動車モータースポーツ部長新井泉から、エボリューションXのグループNホモロゲーション取得についての報告も行われた
2. 昨年大会同様、セレモニアルスタートは「ばんえい競馬」で知られる帯広競馬場で開催。全日本ラリー選手権にエボリューションXで出場した写真の奴田原文雄選手はトラブルで無念のリタイアに
3. 全日本ラリー選手権のJN1.5クラスは、コルトで3連勝を狙っていた大庭誠介選手がトップをひた走ったが、最終に痛恨のコースアウト。驚きに走り続けた大井こず選手が待望の全日本初優勝を飾った
4. ラリーの直前に行われた洞爺湖サミットで運営協力車として活躍した電気自動車「i-MEV」をそのまま運び込んでサービスパークに展示。三菱自動車を取り組んでいる環境対応技術のPRも行い注目を集めた
5. 3台体制で出場したチームMRFタイヤだったが、ベッターとジルはともにトラブルに泣かれ総合成績には残らず。それでもベッターはDAY2単独では3位タイで走り切って実力の片鱗を示していた

## 大荒れの天候を乗り越えて今季2勝目をマーク。KATSUが底力を見せつけた

WRCラリージャパンは今年から札幌を中心とする道央圏へと舞台を移すことになったものの、8年目の開催となったラリー北海道は引き続き十勝地方での開催。2日間で計18ステージ=230.80km、総走行距離1195.54kmのルートが設定された。車両規則の違いから成績は別個のものとなるものの、今年もAPRCと全日本ラリー選手権が同時開催され、総エントリー台数は61台。その半数近くの29台を三菱車が占め、変わらぬ支持の厚さを印象づけていた。

田口勝彦を擁するチームMRFタイヤは、チームメイトのスコット・ベッターとガウラブ・ジルも加わり、三菱ランサーエボリューション3台体制で出場。主なライバルとなるのは、昨年大会を制しているコーディ・クロッカーと、やはり母国イベントで燃えている柳澤宏至というスバル勢。昨年のPWRCチャンピオンである新井敏弘もスポット参戦してきたが、APRC

ポイントの対象外であり、KATSUにとってはマークすべき存在ではなかった。

トップとは2ポイント差のシリーズ2位で北海道に乗り込んできたKATSUは、序盤からステディ&ファストの見事な走りを披露した。SS4ではベストタイムを叩き出し、DAY1午前のステージ群をAPRCトップで終える。ところが、午後になると十勝地方の天候が急速に崩れ、スコールのような豪雨が地表に降り注いできた。そして午後一番の林道ステージである29.55kmのSS6は、森の中であるにもかかわらず、路面が泥水の中に沈んだ冠水状態の区間の連続に。先頭スタートのクロッカー、そして2番手スタートのKATSUは、砂利掻き役ならぬ水掻き役を延々強いられ、通常ではあり得ない大幅なタイムダウンを喫することになった。そして、この日の残る2ステージはキャンセルに。波乱のDAY1は、SS6を明らか

に有利な条件で走行できた5番手スタートの柳澤がAPRCのトップに立ち、これを21.7秒差でKATSUが追う形で終了した。

前日は打って変わって好天に恵まれたDAY2。KATSUは、柳澤との間に横たわるギャップを確実に削り取っていった。午前の5ステージを終えたところで、両者の差は4.1秒に。そしてSS15でついに逆転。その後、柳澤も意地を見せて食い下がったが、KATSUは2.3秒という僅差ながらも振り切った。今シーズン2度目のAPRC優勝、そして2005年大会以来、3年ぶり2度目の地元APRCイベント制覇となった。「DAY2ではかなりハードに攻めました。ギリギリの勝利でしたけど、勝てよかった」と語るKATSU。今年のラリー北海道は、彼が長年の国際ラリー参戦を通して培ってきた底力を改めて見せつけた一戦となった。



「計算どおりの逆転? とんでもない! ヒヤックとする瞬間が何度もあったし、本当にギリギリだった」とKATSU。テクニックと集中力の高さを示す快心の勝利だった

## 新たなる取り組み 『カーボン・オフセット』



三菱自動車およびラリーアートは、モータースポーツの現場における環境への取り組みとして「カーボン・オフセット」と呼ばれる活動をこのラリー北海道で実施した。これは、人間の経済活動や生活などを通して排出されるCO2を、グリーンエネルギー事業や森林植栽事業などによって、直接的・間接的に吸収するもの。今回は、三菱自動車製のラリーベース車がラリー北海道の全行程で排出するCO2について、アルゼンチン・パタゴニア地方の風力発電事業で創出された排出権を三菱商事を経由して購入することで相殺。その費用は、三菱自動車/ラリーアートと、この主旨に賛同いただいた全三菱車エントリーが折半して拠出した。



dealer team  
MITSUBISHI MOTORS

3年ぶりに復活

# 三菱自動車ディーラーチーム 始動。

田口勝彦&三菱ランサーエボリューションXを擁しWRC第14戦ラリージャパンに参戦

## 第13回ディーラーメカニック最終選考会を実施し、5名のメカニックを決定

来る10月31日～11月2日に開催されるWRCラリージャパン。三菱自動車、三菱自動車販売協会ならびにラリーアートでは、この大一番に向けて「三菱自動車ディーラーチーム」を3年ぶりに組織。昨大会に続く母国WRCグループN連覇を目指す田口勝彦を、世界が注目する新型ランサーエボリューションXに乗せて送り込む。

三菱自動車ディーラーチームの特徴は、ラリーカーのサービスを担当するメカニックが、普段はお客様の愛車を整備している、いわゆる「ディーラーメカニック」であることだ。1993年の香港～北京ラリーを皮切りに、WRCやクロスカントリーラリー・ワールドカップといった世界選手権レベルの大会に出場し、

その都度、選考会を実施して優秀なメカニックを選抜。全国三菱自動車販売会社で働くサービススタッフの技術力向上や士気高揚に大きな効果を挙げてきた。13回目となる今回は、約4400名の中から一次審査によって21名に絞り込み、7月22～24日にモビリティパーク（静岡県伊豆の国市）で行った最終選考会でラリージャパンに派遣する5名を決定した。

最終選考会まで駒を進めてきた時点で、この21名はディーラーメカニックとしては相当なレベルにある者たちだ。日頃から様々な車両の整備を手掛けており、技術力そのものは申し分ない。しかし、ラリーのサービスではまさに秒刻みでの作業が要求され、無論ミスも許されない。限られた時間の中で、いか

に正確かつ確実な作業を遂行できるか。追い込まれた状況下で、どれだけの能力を發揮するか。こうした視点から、3日間にわたって徹底的な審査が行われた。メカニックたちは「この最終選考会に参加しただけでも意義がありました。サービス現場での仕事の仕方を直見す、いい機会になりました」と口々に言う。

今回選ばれた5名は、今後さらなるラリーサービスのトレーニングを受け、北海道にはすっかり「ラリーメカニック」の顔つきになって現れることだろう。彼らが核となる、いわば「2008年型」の三菱自動車ディーラーチームは、全国の三菱ディーラーメカニックの夢を乗せて、全力でラリージャパンに挑む。



最終選考会の審査は多岐にわたる。選考会に応募した動機や、特技、経歴、資格などについてスピーチ。自己表現力が確認される



トラブル箇所を制限時間内にできる多く発見するトラブルシューティング。あせりがちな状況下での冷静な観察力が問われる



荷物を積み込んだサービスカーでの移動を想定した、車庫入れやスラローム、基本的なドライビング審査も実施。やはり時間制限あり



100m走や腕立て伏せにより瞬発力や持久力をチェック。参加メカニックの多くが出動前にランニングするなどして鍛えてきた



全国から選抜された21名の中から5名の派遣メカニックが決定。彼らがサポートするKATSUにとっては、エボリューションXで出場する初ラリーとなる



整備作業の実技では、リヤデフとフロントサスペンションをアッセンブリー交換する作業や、本番のサービスを想定した20分間のラリーシミュレーションなどを実施。サービスが終わるとKATSUが乗り込んでいきなり全周で走り出すという手順で、メカニックたちは責任の大きさを肌身で感じることに。また、選考会当日は石川大悟（北海道自）、吉村慎晃、久野太志（ともに関東自）、藤林義孝（京都自）の4名のOBも参加し、後輩の指導にあたった

### 「ラリージャパン2008」ディーラーメカニック選考会エントリー選手

選考	氏名	所属
	佐々木 雅人	北中央三菱自動車販売
次席	大嶋 直	北海道三菱自動車販売
○	去石 聡	東日本三菱自動車販売
	田中 裕貴	東日本三菱自動車販売
	柴山 裕征	東日本三菱自動車販売
	小林 宏行	東日本三菱自動車販売
	松丸 泰宏	千葉三菱自動車販売
	乙黒 親義	関東三菱自動車販売
	渡邊 佑介	関東三菱自動車販売
○	田中 裕貴	関東三菱自動車販売
	岡田 博満	関東三菱自動車販売
	松枝 大介	関東三菱自動車販売
	西岡 亮太	関東三菱自動車販売
○	福世 晴久	静岡三菱自動車販売
	遠田 智大	中部三菱自動車販売
	木内 光人	中部三菱自動車販売
	斎藤 理人	中部三菱自動車販売
○	村田 守	三重三菱自動車販売
	豊島 大輔	西日本三菱自動車販売
○	古泉 拓也	九州三菱自動車販売
	谷利 亮次	京都三菱自動車販売

## ラリージャパンに挑む 三菱自動車販売会社 メカニック



去石 聡

東日本三菱自動車販売

「最終選考会で競い合ったことはいい思い出になりました。できればもう1日いたいぐらいです。一緒にやってきたみんなの分まで頑張りたいと思います」



田中 裕貴

関東三菱自動車販売

「基礎体力作りをして最終選考会に臨みました。みんなを鼓舞してでもラリージャパンに行きたい、と言った手前、この先も全力で頑張ります」



福世 晴久

静岡三菱自動車販売

「ここまでがむしゃらに頑張ってきたので、派遣メカニックに選ばれ、うれしすぎて言葉になりません。精一杯やって、チームの力になりたいと思います」



村田 守

三重三菱自動車販売

「最終選考会の3日間は、本当に緊張の連続でしたが、ここで素敵な仲間に出会えたことが何よりよかったです。ラリージャパンでも頑張ります」



古泉 拓也

九州三菱自動車販売

「普段の仕事でもなるべくエアツールに頼らないようにするなどして、今回に備えてきました。九州三菱の代表として、チームのために精一杯頑張ります」

次席 / 大嶋 直 北海道三菱自動車販売

## PWRC

FIA PRODUCTION CAR WORLD RALLY CHAMPIONSHIP 2008

FIAプロダクションカー世界ラリー選手権

### アイグナー怒濤の3連勝。畑田原文雄は初挑戦の2戦をともし上位フィニッシュ

PWRCを含むWRCのグループNカテゴリーでランサーエボリューションユーザーが開幕10連勝を達成。まさに破竹の快進撃が続いている。PWRC第5戦フィンランド終了時のポイントランキングでトップに立つのはアンドレアス・アイグナー選手。アルゼンチン、アクロポリス、トルコというタフなグラベルラリーで3連勝を遂げる強さを見せた。8ポイント差のランキング2位で続くのは、地元フィンランドを制したユホ・ハンニネン選手。アイグナー選手より出場イベントを一戦多く残しており、逆転タイトルの可能性は十分にある。また、畑田原文雄選手はアクロポリスとフィンランドという難しいラリーに立て続けに初挑戦し、それぞれ4位と5位でフィニッシュと実力を発揮。この後は、ニュージーランド、ラリージャパン、グレートブリテンの3戦に出場する。



トルコのラフロードを疾走するアイグナー選手。アルゼンチンでの初優勝を契機にグループNでの勝ち方を覚えたか、ラリージャパンには出場しないのが残念



フィンランド名物のジャンプを豪快に跳ぶ畑田原文雄選手。僅れのラリーだったと言うが、まさちり結果も出てきたところがさすが。エボXでの出場となるラリージャパンも楽しみ



ハンニネン選手は過去2年の母国ラリーにはランサー-WRCで出場しており、グループN優勝は今回が初めて。昨年に続いて出場するラリージャパンでは優勝候補のひとつだ



# MITSUBISHI RACING LANCER 現わる。

『三菱レーシング ランサー』2009年ダカールラリー  
デビューウィンを目指し実走テスト開始



カーボン地味出しの状態でモロコシテストに臨んだ『レーシングランサー』デビュー戦ではステファン・ベテランセルが同車を駆る

三菱自動車のダカールラリー8連覇・通算13勝目を狙う新型マシン、その名も「レーシング ランサー」がついに走り出した。言うまでもなく、そのパワーユニットは新開発の3ℓV型6気筒ディーゼルトターボエンジン。従来のパジェロエボリューションの車体に載せて、今年すでに3度の実戦を経験させているものだ。

これを搭載する本命の『レーシング ランサー』の車体もちろん新設計。ディーゼルトターボとなったことで変化した重量配分やトルク特性に対して最適化を図ったサスペンションジオメトリーとしているほか、補機類の増加がありながらも低重心かつイナーシャ（慣性）の小さいパッケージングを実現している。今夏以降、欧州各国で順次発売となる『ランサー スポーツバック（日本名：ギャランフォルティス スポーツバック）』をモチーフとしたカーボン製ボディパネルは、空気抵抗が低く抑えられているとともに、ターボによる発熱

にも十分対応する冷却性を確保。総じて、三菱自動車長年のラリー活動を通じて培ってきた技術力を惜しみなく注ぎ込んだマシンに仕上がっている。

この『レーシング ランサー』は6月初頭にシェイクダウンを果たし、その後グラベル路と砂漠でそれぞれ1週間ずつのテストを立て続けに実施。これまでのところ大きな問題は一切発生しておらず、開発は順調に進んでいる。チームでは、この夏から秋にさらに2度のモロコシ



カラーリングもレッドをベースとした従来のものから一新。ホワイトとグリーンを印象的に使い、グリーンなイメージを打ち出したものとなる



ボディのフォルムは『ランサー スポーツバック』そのまま、絞り込まれたリヤゲートの奥には3本のスベアタイヤがしっかりと収まっている

コシテスを行って熟成を図り、10月30日～11月2日に開催されるバハ・ポルトガルで同車を実戦デビューさせる予定である。そして、その先に待ち受けているのは初の南米開催となる2009年ダカールラリー。決戦の時がいよいよ迫ってきた。

CCB FIA インターナショナルカップ・クロスカントリー・バハ  
FIA INTERNATIONAL CUP for CROSS COUNTRY BAJAS 2008

## ロマが総合2位、増岡は不運のリタイア

CCB第3戦バハ・スペインが7月17～20日に開催され、チーム・レプソル三菱ラリーアートからガソリンエンジン搭載のパジェロエボリューション（MPR13）で出場したホアン・ナニ・ロマが2位でフィニッシュした。一方、増岡浩は3度目の実戦となったディーゼルトターボエンジン搭載のMPR14で参戦。SS2Bではセカンドベストをマークする好走を見せた。ところが、多数の車両がコースアウトしたSS4の右コーナーで増岡も同様にコースから外れ、そこへさらに別の車両がコースアウトしてきて、増岡のMPR14を飛び越えたところで炎上。その火はMPR14にも燃え移り、全焼してしまう事態に。幸い怪我もなく無事であったが、さすがの増岡もガックリと肩を落とすことになった。



思わぬアクシデントに見舞われた一戦。ロマの2位がせめてもの救い

AXCR アジアクロスカントリーラリー  
ASIA CROSS COUNTRY RALLY 2008

## アジアクロスカントリーラリーでトライトンが2位に

FIA公認でアジア最大規模の大会であるアジアクロスカントリーラリーの2008年大会が8月10～15日にタイで開催された。首都バンコクをスタートし、ダート、マッド、砂、川渡り、ガレ場、ジャングルなどの多彩でハードなオフロードを舞台とした計5ステージ＝1021.24km、総走行距離2208.91kmのルートを6日間で走破。総出場台数27台のうち、三菱車は計8台が出走し、全車完走を果たした。その最上位はトライトンで総合2位に食い込んだチャムナン・オンスリ選手。日本人最上位はパジェロで出場し総合16位／ガソリン車クラス優勝を果たした浅井道浩選手／佐々木秀樹選手だった。詳しくは <http://www.axcr.com> ご覧下さい。



各ステージを安定して速いペースで走り切ったオンスリ選手

増岡 浩 連載コラム

# 砂漠への招待状。 vol.14

## レーシング ランサー、はっきり言って「期待大！」です。

レーシング ランサー、なかなか速そうでしょ!? 実際、速いんですよ、これが（笑）。ひと言で言えば、これまでのパジェロエボリューションとはまったく別のクルマですね。僕はこれまでのすべてのテストで走らせてきましたけど、とにかくコントロールしやすいし、クルマの軽さを随所で感じる。事実、軽量化は開発チームが相当苦心したところで、おかげで車両規則の最低重量ギリギリに上げることができそうです。前後のオーバーハングには重いものを配置しないデザインになっているし、サスペンションジオメトリーも一新しました。そしてエンジンは新開発のディーゼルトターボです。その加速力はすごいですよ。特に100km/h以上の速度域での加速が、これまでのガソリンエンジンとはまったく違う。しかも心強いのは、走らせるたびに改良が加えられて、どんどん進化していることです。おまけに、ものすごくトルクが上がっているのに、レーシング ランサーはこれまで一度も大きなトラブルを出していない。期待するなって方が無理、って話なわけですよ。



南米で開催される2009年ダカールラリーには標高が3000m級のところもあるようなので、クルマもドライバーも高地トレーニングを行うつもりです

そのレーシングランサーのテストをモロッコで行った後、僕はディーゼルトターボ搭載のMPR14でバハ・スペインに出場してきました。

ところが、これが散々なことになってしまったのです。

SS4のとある下りの右コーナーでコースアウト。主催者から配布されたロードブックが不正確だったために飛び出すクルマが続出していたコーナーで、僕らも同じでした。でも、他のクルマは脱出していったのに、何かが引っかかっていたのか僕らは動けなかった。クルマから降りてみるとタイヤもバンクしていたので、僕とコ・ドライバーのバスカル・メモンはその交換作業に取り掛かりました。そこへ、すごい音がしたかと思うと、新たにコースアウトしてきたクルマが僕らの真上を飛び越えていて、横倒しになって着地。呆気に取られていたら、やがて高温のブレーキローターで下草に火が着いて、あっという間にそのクルマが燃え上がり、すぐ近くにあった僕らのMPR14にも燃え移ってしまったんです。車載消火器を持ち出して何とか火を消そうとしたんですけど、まったく追いつかない。結局、僕らは自分のクルマが焼け落ちるのを見ていることしかできなかった。さすがにへこみましたね。自分の長い経験の中でも初めてのことでした。

でも、ネガティブなことを引きずったままでは前には進めない。それに年内の僕は、レーシング ランサーのテストの予定が本当に目白押しなんです。まずは8月下旬から9月上旬に行う2度目のモロコシテスト。例年であれば長期間のテストはこれが最後になるのですが、今年は10月にもう一回モロコシでテストします。そして10月末にバハ・ポルトガルで実戦デビューを迎



バハ・スペインは予想を超える事態が発生。その前のセントラルヨーロッパラリーでもレーシングアクシデントがあったし散々。さすがに先日はお蔵いに行っていました

える、という段取りです。ここにレーシング ランサーで出場するのはステファン・ベテランセルだけで、僕の次の実戦は本命の2009年ダカールラリーになりますが、気力は充実しているし、「行け」と言われたらいつでも100%で走れるように備えていますから大丈夫。とにかく今は、レーシング ランサーの開発に集中。目標は、ただひとつ。南米で初開催となるダカールラリーでのデビューウィン、それだけです。

Profile：1960年3月13日、埼玉県生まれ。1987年から三菱自動車チームよりダカールラリーに参戦。2002年、2003年と2年連続で総合優勝を飾っている世界を代表するプロフェッショナル・クロスカントリーラリードライバー



14回目!

田口勝彦 連載コラム

## KATSUのいつだってエボリューション

## ラリー北海道の最後のバトルは結構シビれました。

おかげさまで、3年ぶりにラリー北海道でAPRC優勝を決めることができました。パーフェクトな内容ではなかったけど、何しろとんでもなく荒れたラリーでしたから、自分としては「勝てた」というだけで十分すぎるって感じなんです。

ラリーが始まる前は、難しいラリーになるだろうと覚悟していました。去年ここで優勝したコディは今年も狙ってくるだろうし、柳澤選手も北海道ではいつも速い。一方の僕は、事前テストの段階ではタイヤのマッチングが合わなくて調子悪し。「マズイな〜」って感じだったのが正直なところです。でも、シェイクダウンを走ってみたら意外に悪くない。事前テストはわりとアベレージの低いコースでやったんですけど、

シェイクダウンのコースはそこそこのハイスピードで、こっちで合ってるなら本番のステージでも行けそうって感じになってきたんです。案の定、DAY1の午前中はそんなに攻めてないのに、まずまずのタイムが出てきて、ここは稼ごうと思っただけでプッシュしたSS4ではトップタイム。「何だかいい感じ」と思っていたら、来たんですよ、これまでマレーシアやインドネシアでも経験したことのないような猛烈な雨が! SS5の陸別ではまだそうでもなかったけど、29.55kmのSS6は、ウェットコンディションなんてもんじゃなくて、川ですよ、川。一番食らったのは先頭スタートのコディで、その次が2番手スタートの僕。よりによって30km近くもあるロングステージをハイドロ状態



劇的な逆転優勝を決めて北豊国サービスパークに帰ってきたところ。コ・ドライバーのマークのはしゃぎぶりが分かります? とても五十代の大ベテランには見えない(失礼)この若々しさが彼の原動力です

で延々走るようになって、おかげで普通じゃあり得ないタイムロス。でも、そんなことよりも、あれでよくコースアウトしなかったな、という気持ちの方が強かったですね。結局、その後の2ステージはキャンセルになって、APRCトップの柳澤選手とは約20秒差で初日を終了。雨であれだけロスしたことを考えれば、まだ行ける、と気合いを入れ直してDAY2に挑みました。

その午前中のステージでは少しづつ差を詰めていって、午後のループで勝負に出る、というのが僕のプラン。それがハマったのか、午後の2本目で0.1秒差ながらも柳澤選手を逆転できました。ところが、そのまま突き放そうと思ってい

た彼が、なかなか離れてくれない。最終ステージまで争って2.3秒の僅差で辛くも勝利。結構シビれました。でも、今回はコディが6位に終わったので、タイトル争いで彼を3ポイントすることに。それにしても、柳澤選手の最後の粘りには驚かされました。彼もこの数年APRCで経験を積んで、かなり手強い存在になってきたと強く感じました。

北海道から約1カ月のインターバルを経て、次の舞台は灼熱のインドネシア。タイトルのためには絶対に落とせないと戦っていたが、序盤のSS3ではAPRC参戦になりました。ところが、DAY2ではコディもバンク。結局、チームメイトのガウラブ・ジルがAPRC初優勝を果たし、僕らは2位でフィニッシュしました。スーパーバイク(!)で転んだケガがやけど治ったジルは、APRCでまともに行ったラリーがまだ数戦しかないのにもう優勝。やっぱり「恐るべし」です。僕らは最終戦チャイナのスキップが決まっているので、次のマレーシアが今年最後のAPRC参戦になります。現在、コディとの差は6ポイント。この差をどれだけ広げてチャイナを待てるか。厳しい戦いですが、可能性を信じて精一杯プッシュしていきます。

田口勝彦オフィシャルホームページ  
<http://www.ralliart.co.jp/katsu/>

Profile：1972年2月7日、岡山県生まれ。22歳より海外に渡り、ラリー・エボリューションで国際ラリーの経験を積んできた。1999年にはAPRC総合チャンピオンを獲得し、2007年WRCラリージャパンではグループN総合優勝を果たしている。株式会社ラリーアート社員

# JAPANESE RALLY CHAMPIONSHIP



ターマックの第3戦京都に次いで石田正史選手はグラベルの第5戦福島も制覇。熟成のエボリューションIXで逆転タイトルを狙う

## ■全日本ラリー選手権

### 石田正史選手が2勝しランキング2位 JN1.5クラスではコルトが開幕7連勝

全10戦が開催され、うち7戦分のポイントが有効となる今年全日本ラリー選手権だが、ランサーエボリューションIXで出場している石田正史選手が第5戦福島でシーズン2勝目をマーク。第6戦ラリー北海道ではバンクで後退を余儀なくされたものの、第7戦赤井川では3位入賞を果たし、シリーズポイントでは2位に。逆転タイトルの可能性も十分に残している。注目のランサーエボリューションXは、開幕戦から同車で出場している奴田原文雄選手、そして第5戦福島から同車にスイッチした田口幸宏選手ともに不運続き。それでも第7戦赤井川では奴田原選手がコースアウトを喫するまでトップを走行しており、グラベルでの戦闘力も着実に上がってきていることを印象づけている。

また、国内ラリーの活性化を目指し今年から設けられたJN1.5クラスではコルト1.5Cのユーザーが開幕7連勝を達成。そのうち、第4戦宮崎、第5戦福島、第7戦赤井川と3勝を挙げた大庭誠介選手が、初代JN1.5王者を目指してシリーズトップをひた走っている。



「本当はタイトル争いのことは気にしたくないんですけど、やっぱり気になる」と複雑な心境の石田正史選手。「とにかく楽しく走ること」がラリーにおけるモットーだと言う



得意とするラリー北海道ながら、DAY1前半でバンクによるダメージからACDが機能しない状態となり、大きく遅れを取った石田選手。DAY2で猛烈に追い上げて2位はさすが



第4戦宮崎で2位入賞を果たした田口幸宏選手。続く第5戦福島からエボリューションXを投入したが、まだまだマシンは熟成途上。細かい問題から、悔しいラリーが続いている



第6戦ラリー北海道ではトップを独走しながら最後にコースアウトを喫する大波乱を演じた大庭誠介選手。続く第7戦赤井川を制して3勝目を挙げ、終盤のターマック連戦をにらむ

# ALL JAPAN GYMKHANA CHAMPIONSHIP

## ■全日本ジムカーナ選手権

### N4クラス菱井選手、SCクラス谷森選手が早くも王座確定

全日本ジムカーナ選手権は、最も改造範囲の狭いN4クラスでチャンピオンが確定。ランサーに乗り換えて2年目となる菱井将文選手が第6戦もてぎで今季4勝目を挙げ、5年ぶりのタイトルを早々と決めてみせた。対照的に混戦模様なのがナンバー付き改造部門のSA3クラス。開幕6戦を終えて、川脇一晃、津川信次、西原正樹のランサーユーザ3選手がいずれも2勝ずつ挙げて、ほぼ横一線に並んでいたが、第7戦浅間台で川脇選手が3勝目をマーク。残り2戦となったところで、頭ひとつ抜け出した格好となっている。一方、ナンバーなし改造部門のSCクラスは谷森雅彦選手が出場全イベントで優勝を飾る圧倒的な強さを見せ、見事に7年連続チャンピオンを確定させている。



チャンピオン確定後の第7戦も制して5勝目を挙げた菱井選手。今年の第2戦で勝つまで3シーズンも表彰台の中央から遠ざかっていたとは思えぬ強さを発揮している

# ALL JAPAN DIRT TRIAL CHAMPIONSHIP

## ■全日本ダートトライアル選手権

### N3クラス吉村選手、Dクラス河内選手がタイトルに王手

全8戦で争われる全日本ダートトライアル選手権も5戦を消化。ノーマルに最も近い車両を使うN3クラスはランキング上位10選手が全員ランサーユーザという状況だが、その中でも吉村修選手が4勝と断トツの強さを発揮。2年連続チャンピオンに王手をかけている。ナンバー付き改造部門のSA2クラスは、ランサーで4年連続タイトルを目指す荒井信介選手が2勝を挙げてランキングトップ。ナンバーなし改造部門のSC3クラスでは、第5戦切谷内でも丹羽政彦選手がうれしい全日本初優勝を飾った一方で、炭山義昭選手は5戦連続2位となって自力でのタイトル獲得は難しくなった。改造無制限のDクラスは、河内渉選手がやはり4勝をマーク。2年ぶりの王座奪還に向けて前進している。



Dクラスで長年戦い続けている河内選手。昨年は若手の宮入友秀選手にタイトルを明け渡したが、今年からマシンを新しくして迎戦。ベテランの強さを見せつけている

## 2008年5月～8月 海外/国内モータースポーツ主要結果表

# RESULT

Table with multiple columns for different motorsport series: FIAプロダクションカー世界ラリー選手権 (PWRC), FIA世界ラリー選手権 (WRC), FIAインターナショナルカップ/クロスカントリーパハ(CCB), 全日本ラリー選手権, スーパー耐久シリーズ STクラス2, 全日本ダートトライアル選手権 (N3/N4/N5), FIAアジア/パシフィックラリー選手権 (APRC), 全日本ジムカーナ選手権 (N4/N3/SA3/SC), and others. Each column lists race numbers, dates, and top performers.

# SUPER TAIKYU SERIES

## ■スーパー耐久シリーズ

### ST-2クラスはランサーの独壇場 十勝24時間は和田久選手組が制す



開幕戦以来、表彰台に上ったのはすべてランサー。十勝24時間ではエボリューションIXが表彰台を独占した。左から2位の伊藤俊哉選手組、優勝の和田久選手組、3位の富栞明広選手組

市販車に最小限の競技専用改造を施したツーリングカーで争われるスーパー耐久シリーズ。今年はエンジン排気量と駆動方式により区分された4クラスが設けられ、唯一の4WD車クラスであるST-2クラスは例年以上にランサーエボリューションユーザの独壇場となっている。7月20～21日には十勝24時間レースが第4戦として行われたが、ST-2クラスに出場した6台はすべてランサー。このレースを制したのは、和田久/砂子塾長/HINOKI/大瀧賢治選手組のエボリューションIXだった。エボリューションXで出場の中谷明彦/木下隆之/桂伸一/菊地靖選手組は序盤トップを走ったものの、トラブルに見舞われ4位。それでもシリーズポイントではトップの座を守っている。なお、三菱自動車/ラリーアートではラリー北海道同様に、全三菱車エントラントの賛同のもとで「カーボン・オフセット活動」(本紙2ページ参照)をこの十勝24時間レースでも実施し、レース車両が排出するCO2を差し引きゼロとした。



十勝では、タイヤとブレーキをうまく温存してピット作業時のタイムロスをも最小限に抑え込んだ和田久選手組。レース巧者ぶりを見せて、念願の十勝24時間初優勝を勝ち取った



ステディに周回を重ねていた伊藤俊哉選手組は、他車の後退を受けてするとポジションアップ。開幕戦鈴鹿での4位を大きく上回る2位表彰台を、難関の十勝24時間でつかった



どのレースでも速さを見せながら結果を残せずにきた富栞明広選手組だったが、十勝でもトップ争いを展開中に駆動系トラブルに襲われ後退。それでも3位に入り、今後につなげた



4時間で行われた第3戦富士では峰尾恭輔選手組が優勝し、エボリューションXにスーパー耐久2勝目をプレゼント。クラス最後尾スタートから劇的に追い上げたすずきの勝利だった

## オフィシャル参加もモータースポーツ活動の一つ! '08年のCMSCは16の競技イベントを開催!

CMSC(コルトモータースポーツクラブ)の活動は、所属選手がモータースポーツ競技イベントに三菱車で参加し活躍するだけにとどまらず、モータースポーツ振興と発展のために各種JAF公認のモータースポーツ競技イベントを長年数多く開催しています。モータースポーツには競技に参加する楽しみもありますが、オフィシャルとして競技イベントを開催し運営する楽しみもありクラブの活動の柱一つ

となっています。仲間達と企画～準備～当日の運営を通じて、一つのイベントを盛り上げる事も非常に達成感があり醍醐味のある活動です。また、ルールを学び、覚える事によりモータースポーツに関する知識がより深まります。CMSCでは'08年は、8つの加盟クラブが全日本選手権から地域のシリーズ戦まで、16大会を主催いたします。貴方も我々CMSCの一員となって一緒にモータースポーツを楽しみませんか。

### ■2008全日本選手権 (1大会)

開催日	イベント名	開催場所	主催支部名
10/12	2008年JAF全日本ダートトライアル選手権第8戦 モンテカルロカップダートトライアル IN 広島 (共催)	テクニクスステージ タカタ	CMSC広島 082-892-9560

### ■2008地方選手権 (5大会)

開催日	イベント名	開催場所	主催支部名
7/6	2008年JAF四国ダートトライアル選手権第4戦 '08CMSCアストロトライアル	香川スポーツランド	CMSC香川 087-882-4335
7/26~27	2008年JAF東日本ラリー選手権第5戦 '08ソールド・東北	青森県内200km	CMSC青森 0172-82-2005
8/3	2008年JAF中国ジムカーナ選手権第5戦 CMSC島根チャレンジカップ	備北サーキット	CMSC島根 0852-26-1630
8/24	2008年JAF東北ダートトライアル選手権第6戦 若手三菱ダイヤモンドトライアル	スポーツハイランド新郷	CMSC若手 019-622-0465
10/5	2008年JAF東北ダートトライアル選手権第8戦 CMSC仙台もみじ狩りトライアル'08	仙台ハイランド オフロードコース	CMSC仙台 022-772-5521

### ■2008JMRC (地域クラブ協議会) シリーズ、県シリーズなど (10大会)

開催日	イベント名	開催場所	主催支部名
2/10	2008宮城・福島ダートトライアルシリーズ第1戦 CMSC仙台耐寒トライアル'08 (スノー)	仙台ハイランド テクニカルコース	CMSC仙台 022-772-5521
3/2	2008宮城・福島ダートトライアルシリーズ第2戦 COLTダイヤスターダートチャレンジ2008	SSパークサーキット グラベルコース	CMSC福島 024-525-5222
4/5~6	2008年JMRC中国・四国ラリーシリーズ第1戦 2008CMSCダイヤスターラリー	香川県内160km	CMSC香川 087-882-4335
6/1	2008年JMRC北東北ジムカーナシリーズ第2戦 2008CMSC青森ジムカーナ第1戦	岩木山スキー場 駐車場	CMSC青森 0172-82-2005
6/1	2008年JMRC中国ジュニアジムカーナシリーズ第3戦 CMSC島根チャレンジカップ	備北サーキット	CMSC島根 0852-26-1630
7/6	2008年JMRC北東北ジムカーナシリーズ第3戦 2008CMSC青森ジムカーナ第2戦	岩木山スキー場 駐車場	CMSC青森 0172-82-2005
8/10	2008年JMRC長野ダートトライアルシリーズ第5戦 CMSC長野サマートライアル2008	モーターランド野沢	CMSC長野 0267-67-8322
9/7	2008年JMRC北東北ジムカーナシリーズ第6戦 2008CMSC青森ジムカーナ第3戦	岩木山スキー場駐車場	CMSC青森 0172-82-2005
10/19	2008年JMRC中国ダートトライアルシリーズ第7戦 広島三菱自動車カップCMSC広島ダートトライアル	テクニクスステージタカタ	CMSC広島 082-892-9560
10/5	2008宮城・福島ダートトライアルシリーズ第9戦 CMSC仙台もみじ狩りトライアル'08	仙台ハイランド オフロードコース	CMSC仙台 022-772-5521

※各イベントのレポートは <http://www.ralliart.co.jp/cmssc/08schedule.html> まで!

■ ラリー ■ ダートトライアル ■ ジムカーナ



4/5-6 CMSC香川:ラリースタートの様子

8/10 CMSC長野:オフィシャル集合

## 貴方もCMSCに入会し オフィシャルに参加してみませんか!



3/2 CMSC福島:オフィシャル集合

競技でスタートと合図を出すコース委員

モータースポーツ競技イベントにオフィシャルとして参加する近道は何と言ってもJAF登録クラブへ入会することです。是非、お近くのCMSC支部までお気軽にお問い合わせ下さい。なお正式オフィシャルとして活動するにはJAF公認審判員許可証 (オフィシャルライセンス) が必要です。ライセンスを取得する方法は、講習会受講やクラブからの推薦などの方法があります。詳しくはJAFモータースポーツのホームページ (<http://www.jaf.or.jp/msports/>) をご覧下さい。

### ■オフィシャルの種類

- 1 コース委員 ——— コース委員、信号員、スタート審判員、走路審判員
- 2 計時委員 ——— 計時委員、出発合図員、決勝審判員
- 3 技術委員 ——— 技術委員、車両検査員、補給観察員

### ■CMSC各支部一覧 (\*加盟クラブ、無印:準加盟クラブ)

支部名	会長	事務局長	連絡先
道北*	秋葉貴之	石塚慶子	TEL:0166-82-7122 (石塚慶子)
帯広	中村洋次	青沼達也	TEL:0155-21-7202 (青沼達也)
札幌	山田善之	山田善之	TEL:011-812-7365 (山田善之)
青森*	鶴ヶ谷慶市	福原英治	TEL:0172-82-2005 (鶴ヶ谷慶市)
秋田	近藤隆行	須田 力	TEL:018-839-6918 (近藤隆行)
岩手*	工藤 守	藤澤祥久	TEL:0198-45-6670 (斎藤勝則)
山形*	小川日出生	渡邊利満	TEL:0237-55-5610 (小川日出生)
仙台*	佐藤政一	柿崎博史	TEL:022-772-5521 (柿崎博史)
福島*	菅野昭雄	谷津良嗣	TEL:024-531-4451 (谷津良嗣)
栃木*	川口法行	川口法行	TEL:028-600-5701 (川口法行)
群馬*	荒井信介	荒井信介	TEL:027-361-2222 (荒井信介)
茨城	額賀誠史	額賀誠史	TEL:0291-39-5621 (額賀誠史)
長野*	上野陽志夫	高地 猛	TEL:0267-67-8322 (上野陽志夫)
埼玉	佐藤一彦	小山俊哉	TEL:048-971-7782 (小山俊哉)
千葉	友野 智	友野 智	TEL:043-233-6551 (友野 智)
東京*	石井宏和	入山幸次	TEL:03-3302-8845 (石井宏和)
神奈川	北条雅之	関根好晃	TEL:046-220-5610 (関根好晃)
浜松	山内伸弥	荒津啓司	TEL:0532-25-4196 (荒津啓司)
愛知	吉野正則	小玉憲司	TEL:0587-21-8281 (小玉憲司)
岐阜*	三枝重光	澤田幸良	TEL:0573-25-6048 (三枝重光)
大版*	岩下利勝	笹岡聰憲	TEL:06-6928-6566 (岩下利勝)
広島*	岩根つとむ	平原和幸	TEL:090-3745-3876 (平原和幸)
鳥根*	杉坂啓一	国谷益雄	TEL:0852-23-1512 (杉坂啓一)
香川*	松原 宏	松原 宏	TEL:087-851-9499 (松原 宏)
大分	佐藤克彦	姫野一彦	TEL:097-524-3751 (姫野一彦)
鹿児島	西村謙一	山口 修	TEL:099-201-5544 (山口 修)

準加盟クラブはJAF公認競技の主権はありますが、オフィシャルライセンスの取得後、所属する準加盟クラブJAF承認クロス競技イベントや他のクラブ主催のJAF公認競技イベントにオフィシャル参加できます。

■もっとCMSCのことを知りたい方は、是非CMSCホームページ (<http://www.ralliart.co.jp/cmssc/>) をご覧ください。

## RALLIART ラリーアート・メンバーズクラブ

### RMC限定イベント「ラリーアートメンバーズクラブミーティング in 箱根ターンバイク」開催

5月11日(日)に第1回目の開催を好評のうちに終了した「ラリーアートメンバーズクラブミーティング in 箱根ターンバイク」が、10月13日(月・祝) (予定)に再び開催されることが決定しました。「ラリーアートメンバーズクラブミーティング」はRMCのコミュニケーションの場として、モータースポーツやチューニング、車などに興味のある方にそして同行された友人やご家族でも一緒にゆっくと交流し楽しんでいただくために開催しています。今回も会員数限定30名+ご家族やご友人と一緒に楽しめるイベントを用意しております。詳しくはHP (<http://www.ralliart.co.jp/rmc/>) でお知らせします。



ランサーエボリューショングループ仕様の展示

豪華商品が買えるじゃんけん大会も予定しています

## EVENTS INFORMATION

### 今年もお台場で盛り上がる 「モータースポーツジャパン2008フェスティバル イン お台場」10月4日(土) 5日(日)開催

今年もお台場でモータースポーツファンには欠かせない「モータースポーツジャパン2008フェスティバル」がお台場で開催されます。もちろん「三菱自動車/ラリーアートPRブース」も出展。今年は何んな車両が展示されるの楽しみ! 発売されたばかりの秋冬商品も販売の予定です。また、昨年同様ワークスチューニンググループでは「将来を担う(カー・キッズ) 達へ、クルマを思いっきり楽しんでもほしい」をテーマに、「ホンモノの素晴らしさ」、「自動車の楽しさ」を子供たちに体感してもらおうコーナーをご用意しています。



今年もパレードやデモランを予定

## INFORMATION

### お知らせ「ラリーアートビットさいたま」閉店

4年間ラリーアートファンの皆さまにご愛顧いただきました「ラリーアートビットさいたま」(関東三菱自動車販売株式会社大宮西店内)が、諸般の事情により7月31日をもって閉店となりました。永きにわたりご利用ご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

## RALLIART COLLECTION 2008/2009 AUTUMN/WINTER

# 「ラリーアートコレクション」2008/2009秋冬物新発売

厳選のウェア&グッズ19アイテムを新たにラインアップ

「RALLIART COLLECTION」は、国内外のモータースポーツ活動を通じて培ったノウハウをもとに、トレンドや機能性・品質を徹底的に追求したオリジナルウェア&グッズ。今回は秋冬もののウェアはもちろんのこと、上質なカーフスキンとカーボン素材に用いたウォレットやカードケースなど19アイテムを展開します。

### 軽量で保温性に優れたジャケット

#### RALLIART ミドルウェイトジャケット

RAY1655SG  
税込価格 (税抜価格): ¥26,250 (¥25,000)  
カラー: グレー  
サイズ: M・L・O(2L)



### 上質なカーフスキンとカーボンのウォレット

#### RALLIART ウォレット

RAY50014  
税込価格 (税抜価格): ¥9,975 (¥9,500)  
サイズ: 9.5×11.5cm

使い勝手を考慮した札入れ、コインケース、カードホルダー各ポケットを備える。「RALLIART」ロゴ型押し。

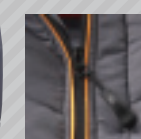


### カーフスキンとカーボンのコンビのカードケース

#### RALLIARTカードケース

RAY50015  
税込価格 (税抜価格): ¥5,750 (¥5,500)  
サイズ: 8×11cm

名刺、カード入れに加え、便利な定期券専用ポケット付。「RALLIART」ロゴ型押し。



軽量で保温性のある中綿をキルティング加工し、腕のたつきを軽減。着脱時の裾のぶつきを防ぐ。上下から開けるダブルファスナー仕様。前開きには車をキズつけにくいリバーファスナー、RALLIARTロゴ入りリバーファスナー付。夜間着用時の視認性を高めるブラックリフレクター(反射素材)バイピング。

#### RALLIART コットンジャケット

RAY0268SB  
税込価格 (税抜価格): ¥7,980 (¥7,600)  
カラー: ブラック  
サイズ: M・L・O(2L)



#### RALLIART ハンドタオル

RAY23021  
税込価格 (税抜価格): ¥630 (¥600)  
サイズ: 24.5×24.5cm



#### アイプロテクショングラス

RAY43018B/C  
税込価格 (税抜価格): ¥5,460 (¥5,200)  
カラー: ブラック(B)、クリア(C) サイズ: フリー

#### WRC ミドルウェイトジャケット

RAY1880WB  
税込価格 (税抜価格): ¥16,590 (¥15,800)  
カラー: ブラック  
サイズ: サイズ: M・L・O(2L)



#### RALLIART ワンタッチパラソル

RAY46010R  
税込価格 (税抜価格): ¥3,780 (¥3,600)  
カラー: ブラック  
サイズ: 直径100cm  
10月1日発売予定



#### LANCER EVOLUTION ニットジャケット

RAY0341EG  
税込価格 (税抜価格): ¥16,800 (¥16,000)  
カラー: グレー  
サイズ: M・L・O(2L)



#### LANCER EVOLUTION ライトジャケット

RAY1757EB  
税込価格 (税抜価格): ¥13,440 (¥12,800)  
カラー: ブラック  
サイズ: M・L・O(2L)



#### LANCER EVOLUTION 車検証カバー

RAY41114E  
税込価格 (税抜価格): ¥4,410 (¥4,200)  
サイズ: 26×17×4.6cm



#### RALLIART 車検証カバー

RAY41113R  
税込価格 (税抜価格): ¥4,410 (¥4,200)  
サイズ: 26×17×4.6cm



#### ラジコン ランサーエボリューションIX MRF

RAY95068K  
税込価格 (税抜価格): ¥2,625 (¥2,500)  
サイズ: 7.8×3.1×2.7cm



#### ラジコン バジェロエボリューション2008増岡車

RAY95069M  
税込価格 (税抜価格): ¥5,229 (¥4,980)  
サイズ: 1/16スケール



#### RALLIART ライセンスプレートホルダー

RAY57019  
税込価格 (税抜価格): ¥3,465 (¥3,300)  
カラー: ブラッククローム  
10月1日発売予定



#### RALLIART エアバルブキャップ

RAY65009  
税込価格 (税抜価格): ¥2,940 (¥2,800)  
カラー: ブラッククローム  
10月1日発売予定



#### RALLIART カラビナーホルダー

RAY49087BR  
税込価格 (税抜価格): ¥735 (¥700)  
カラー: ブラック(B)、レッド(R)  
サイズ: 8×4.4cm

## ウェア、グッズなど、豊富なラインナップを取り揃えた2008/2009 AUTUMN/WINTERコレクション好評発売中!

### 通信販売 のご案内

- ①お電話 フリーダイヤル ☎0120-321466 (9:30~18:00/月~金曜日 [土曜日、日曜日、祝日は休ませていただきます]) 携帯電話、PHSからの場合は ☎03-5486-7356
- ②FAX フリーダイヤル ☎0120-707655 (24時間受付) ③インターネット <http://cybershop.ralliart.co.jp>

■お求めは上記通信販売またはラリーアートビット各店、全国の三菱自動車販売会社へ。 ■カタログご希望の方は巻末にある請求券にてお求めください。

# プレミアムスポーティ4WDグレード『ギャラン フォルティス ラリーアート』発売! ラリーアートスポーツパーツも充実



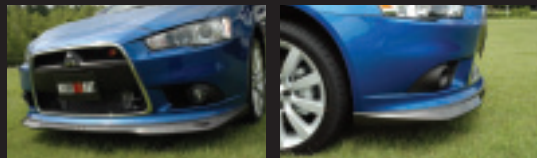
三菱自動車は、スポーティセダン『ギャラン フォルティス』に、実用性と快適性はそのままに、スポーツドライブをいっそう楽しめるプレミアムスポーティ4WDグレード「ラリーアート」を新たに設定し発売しました。



昨年8月に発売された7年ぶりの新型セダン『ギャラン フォルティス』。さらに10月には、モータースポーツも含めた本格的なスポーツ走行も楽しめる4WDスポーツセダン『ランサーエボリューションX (テン)』も発売されました。『ギャラン フォルティス ラリーアート』(CY4A)は、日常走行での快適性とスポーツ走行が楽しめる運動性能を高次元でバランスさせており、これにより、ユーザーの多様なリクエストに応えられるような充実のセダン・ラインアップが完成しました。

ラリーアートでは『ギャラン フォルティス ラリーアート』用のラリーアートスポーツパーツを設定しました。

## 高速域でのダウンフォース向上 「スポーツフロントアンダースポイラー」



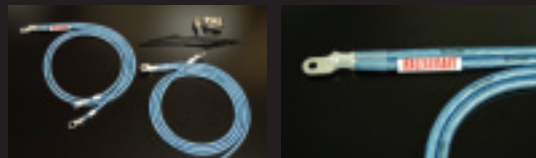
ランサーエボリューションX用スポーツフロントアンダースポイラー開発で得たノウハウを全面的に投入して設計され、高速域ダウンフォースを向上し、スポーツ感溢れるデザインのアンダースポイラーで標準フロントバンパー下部へ装着する。「RALLIART」エンブレム付。CFRP(ウェットカーボン)製。購入日から1年間、または20,000kmの品質保証付。素材についてはこちらのお知らせをご覧ください [http://www.ralliart.co.jp/08news/aero\\_att.html](http://www.ralliart.co.jp/08news/aero_att.html)

## 排圧を低減し重厚感あるサウンドに 「スポーツマフラー」



排圧を低減し音質を向上し重厚感あるサウンドに内部構造をチューニングしたオールステンレス製(SUS304)のメインマフラー。テールエンドは、高級感をアピールする外径φ100、内径φ75、左右シングル出しテール。アウトターエル部には、「RALLIART」ロゴ刻印入り。保安基準適合。1年または20,000kmの品質保証付。  
※吸排気系のトータルチューニングとして、別売のスポーツエアフィルター(RA150023S1)の装着を推奨する。

## 電力を安定供給 「スポーツアーシングシステムキット」



バッテリーのマイナス端子から電装部品やエンジンブロックなどに直接アースを取り、電気の流れをスムーズにし、クルマが本来持っているポテンシャルをより発揮させるシステム。本キットを装着することにより、点火系、モーター類、ランプ類等の各電気系統に必要な電力を安定供給することが可能になる。なお、ケーブルは15SQメッシュを使用し、半透明青色被覆は耐熱110℃、ケーブル4本仕様、黒色RALLIARTロゴ入り。バッテリー接続部付近にはRALLIARTロゴチューブ付き。また、高電圧・高電流に対応すべく本体および接続部に独自の技術を投入し、線と端子を一体化させ、超低抵抗値を実現した。また、半透明青色被覆の15SQメッシュケーブルは、エンジンのドレスアップにも効果的。

## エンジン情報を的確に確認可能 「スポーツ1DINトリプルメーターキット」

スポーツ性能を追求したエンジンに必要な不可欠な油温、油圧、ターボブースト圧の各メーターを3連にして1DINサイズにまとめたもの。ランサーエボリューションXおよびギャラン フォルティス ラリーアート搭載の4B11型ターボエンジンの油温、油圧、ブーストのデータを素早く、的確に知ることを可能にした。

メーター文字盤色は、ホワイト、アンバー色文字とし視認性およびスポーツ感を高め、各センサーからリアルタイムにエンジンコンディションを表示。表面ガラス部にはRALLIARTロゴを配した。

また、配線を車両のオーディオ用カブラーに接続させる専用ハーネス等により、取り付けを容易に、さらに確実にした。

【仕様】

種類	サイズ	目盛(スケール) センサー取出位置
油温計	φ40 30~150℃	オイルフィルター取付部の上側
油圧計	φ40 0~1000kPa	ターボチャージャーオイルフィードチューブ部
ブースト計	φ40 0~100~200kPa	インターカムホールド~燃圧レギュレーター間



## ■「ギャラン フォルティス ラリーアート(CY4A)」用ラリーアートスポーツパーツ

商品名	商品番号	税込価格(本体価格)	備考
スポーツフロントアンダースポイラー	RA640417P1	82,950円(79,000円)	CFRP(ウェットカーボン)製
スポーツマフラー(メインマフラー)	RACY4101S1	102,900円(98,000円)	SUS304ステンレス製、テールエンド外径φ100、内径φ75、左右シングル出し
スポーツエアフィルター	RA150023S1	9,975円(9,500円)	スポーツ濾材(不織布)
スポーツアーシングシステムキット※注1	RACY4501S1	26,250円(25,000円)	ケーブル4本仕様
スポーツ1DIN トリプルメーターキット	RA802544S1	99,750円(95,000円)	油温/油圧/ブースト計

※価格は、2008年9月現在の取付工費を含まない希望小売価格  
※注1:ギャランフォルティス(CY4A)装着可

## コルト1.5C(Z23A)用競技用補強パーツ発売

「アンダーガード」は、過酷なグラベル路面からフロントアンダー部を保護するアルミ製(高力アルミ合金製)を使用、取付ブラケットバーを付属しています。「パイピングガード」は、アルミ製(耐食アルミ合金製)を使用し、パイピング部を確実にカバー。また、「フロントストラットタワーバー」は、2点式のタイプで、競技やスポーツ走行時等にフロント部に大きな荷重がかかるストラットタワー部を確実に連結し剛性を向上させます。併せて「フェンダーインナープレース」の装着により、フロントのフレーム部の剛性を飛躍的に高めることができます。



## ■競技用「アンダーガード」、「パイピングガード」、「フロントストラットタワーバー」、「フェンダーインナープレース」内容

商品名	商品番号	税込価格(本体価格)	備考
アンダーガード	RAZ23402R1	89,250円(85,000円)	アルミ製、取付ブラケットバー付属
パイピングガード	RAZ23405R1	20,790円(19,800円)	アルミ製、取付ブラケット付属
フロントストラットタワーバー	RAZ23406R1	18,900円(18,000円)	2点式、アルミ製
フェンダーインナープレース	RA522425R1	19,950円(19,000円)	アルミ製

※価格は、2008年9月現在の取付工費を含まない希望小売価格

## ランサーエボリューションX RS(CZ4A)用 競技用「アクティブセンターデフ E.C.U.」発売

「アクティブセンターデフ E.C.U.」は、前後輪の差動制限を電子制御するアクティブセンターデフ(ACD)をコントロールするコンピュータユニットで、モータースポーツでの車体のコントロール性能向上のため作動レスポンスを最適化。ダート路面用(グラベルラリー~ウィンターラリー)と舗装路面用(ターマックラリー~サーキット)の2種類を用意しました。



## ■競技用「アクティブセンターデフ E.C.U.」内容

商品名	商品番号	税込価格(本体価格)	備考
アクティブセンターデフE.C.U.	RA863234T1	63,000円(60,000円)	舗装路面用(ターマックラリー~サーキット)、AYC非装着車用
	RA863234G1		ダート路面用(グラベルラリー~ウィンターラリー)、AYC非装着車用

※価格は、2008年9月現在の取付工費を含まない希望小売価格

## ランサーエボリューションX FIAグループN公認(ホモロゲーション)を取得



三菱自動車が国際自動車連盟(FIA)に提出していた三菱ランサーエボリューションX(車両型式:CZ4A)のFIAグループN公認申請が、8月1日付けで認可されました(FIAグループN公認番号は「N-5718」)。ラリーアートは、三菱車競技ユーザーの利便性向上を図るため、同社公式WEBサイトに「グループNインフォメーション」コーナーを設け、三菱ランサーエボリューションVI以降のホモロゲーション情報、コンペティションパーツ情報などを掲載中。ホモロゲーション情報には公認の定義や規則、公認書の入手方法などの詳細を解説し、公認書のサンプルも掲載しています。今後は、同社が発売するグループN用パーツ情報や追加公認情報(VO)などを、いち早く同サイトに紹介する予定です。

## 編集後記

北京五輪はテレビにかじりついて見ました。名だたるトップアスリートが、4年に一度の大舞台へ向け必死に取り組むむなむな姿。これって、バリダカに挑む増岡選手も同じ気持ちなんじゃないかな。感動! (小湊)

## ラリーアートジャーナル Vol.123

発行:2008年9月5日  
編集:株式会社ラリーアート  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目3番7号  
徳栄ビル3階  
TEL:03-3798-3971 FAX:03-3798-3979



## ■ラリーアートパーツ2008フルラインナップカタログ請求方法

ラリーアートパーツを掲載したカタログをご希望の方は、11月30日(当日消印有効)までに、必要事項(住所、氏名、年齢、職業)をご記入のうえ、カタログ請求券と共に封書か官製ハガキでお申し込みください。  
宛先:〒107-0052 東京都港区赤坂6-19-40-403 「ラリーアート係」

## ■ラリーアートCOLLECTION 2008/2009 AUTUMN/WINTER請求方法

カタログをご希望の方は、11月30日(当日消印有効)までに、必要事項(住所、氏名、年齢、職業)をご記入のうえ、カタログ請求券と共に封書か官製ハガキでお申し込みください。  
宛先:〒154-8691 世田谷郵便局私書箱6号「ラリーアートコレクションカタログ係」